

自宅療養者数の推移

感染者増加により、入院可能病床がひっ迫する中、自宅療養者が増加

救急隊が搬送のため出動した際に、入院先の決定まで長時間に渡って対応せざるを得ないなど、救急業務に支障が生じかねない状況

【自宅療養者数の推移】

日付	3月2日	3月9日	3月16日	3月23日	3月30日
人数	42人	19人	31人	20人	73人
日付	4月6日	4月13日	4月20日	4月27日	5月5日
人数	225人	354人	635人	850人	832人

民間救急事業者（救急救命士）との連携による陽性者の搬送支援

【目的】 救急隊と民間救急事業者の連携による円滑な陽性者対応と医療機関への搬送

【概要】

- 民間救急事業者（救急救命士）による陽性者対応
 - ・救急隊の初動の酸素投与などの処置後、症状が安定している状況であれば、民間救急事業者の救急救命士などの医療従事者に引継ぎ、搬送先の医療機関が決定するまでの間、保健所医師の指示のもと、陽性者対応（陽性者の状況に応じた酸素投与量の調整等）を行う。
 - ・救急隊は民間救急事業者の救急救命士到着後、帰署し、次の救急対応へ備える。
- 搬送先医療機関への移送
 - ・搬送先の医療機関が決定した場合は、民間救急事業者または救急隊が医療機関へ移送する。

【事業実施期間】

令和3年5月10日から本格実施

（※5月1日から5月9日まで課題抽出のために試行的に取組を実施）

【事業費】 29,120千円